

平成30年度 京都市立乾隆小学校 学校経営方針

めざす学校像

- ・子どもが毎日楽しく
通いたくなる学校
- ・地域に信頼され、
地域と共にあゆむ学校

めざす教職員像

- ・一人一人の子どもを理解し、
愛情をもって関わっていく職員
- ・研修や研究等、自己研鑽に
励み切磋琢磨して高め合う職員
- ・明るく仲の良い助け合える
職員集団

めざす子ども像

すすんで学習する子
関わり合い高め合う子
元気に活動する子

京都市の学校教育・目指す子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども」

平成30年度 学校教育において重視する視点

子どもの「主体性」と「社会性」の育成を目指し、
「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校全体の教育活動の中で高める。
※特に「家庭での自学自習の習慣化」を重点課題として取り組む

平成30年度 学校教育基本指針

「生きる力」を育む基本的な考え方 ～知・徳・体の調和のとれた育成

学校教育目標 楽しく 学び合い 努力する 乾隆の子の育成

楽しく	学び合い	努力する
いきいきと めあてにむかって 進んで取り組む	互いに認め励まし合い 自他を大切にしながら 関わり、判断できる	子ども自ら 課題に気づき 努力し続ける

確かな学力（知）

- 言語能力を育成するため各教科等で「言語活動」を充実させる。
- 家庭での自学自習の習慣化を目指した取組を推進する。
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を進める。
- 学校図書館の活用を指導計画の中に位置づけ実践を進める。
- ICT機器等を効果的に活用した学習活動を充実させる。
- 子どもの特性に応じた支援や教育を充実させる。
- 帯時間（朝・昼学習）の取組を充実させる。
- 地域の人材や教材を生かした教育活動を展開する。
- 結果としての学力（調査等）を分析し、指導の改善を図る。

豊かな心（徳）

- 関わり合い高め合う集団づくりを推進する。
- 規範意識の醸成・育成（ハートde乾隆など）を進める。
- 学校のきまりについて全教職員共通理解のもと指導を徹底する。
- 道徳教育を充実させる。
- 豊かな感性・情操を育む教育の充実
- 3つの「あ」の取組を継続する。あいさつ・ありがとう・あしまつ
- 感動したことを表現する場を設定し、実践する。
- 人権意識を高める取組を推進する。

健やかな体（体）

- 早寝早起き朝ごはん等基本的な生活習慣を身につけさせる。
- 運動やスポーツの実践と体力の向上を図る。
- 防災教育・安全教育・防災管理を充実する。
- 自分の体や命の大切さを知る学習など保健教育を推進する。
- 食に関する指導を推進する。
- 飲酒・喫煙・薬物に関する指導を推進する。

学校運営の柱 ～全教職員で進める確かな学校教育～ ○子どもの命を守りきる。○すべての教職員がカリキュラム・マネジメントの視点をもって実践を進める。
○教育者としての職責を自覚し、その専門性を高めるとともに、働き方改革を進める。○校種間連携・接続を推進する。
○「こまり」を抱える子ども一人一人に対する支援を行う。○保護者・地域と連携・協働した取組を推進する。○関係機関など社会と連携した総合的・継続的な支援を展開する。